

一般社団法人 名古屋林業土木協会会員のCN、GX、生物多様性、DXなどの取組事例

実施主体	大山土木 株式会社			
区分	<p style="text-align: center;">CN</p> <p style="text-align: center;">(カーボンニュートラル)</p> <p>温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする政府目標。</p>	<p style="text-align: center;">GX</p> <p style="text-align: center;">(グリーンTRANSフォーメーション)</p> <p>化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換すること。脱炭素化社会を構築しようとする取り組み</p>	<p style="text-align: center;">NP</p> <p style="text-align: center;">(ネイチャーポジティブ、生物多様性)</p> <p>生物多様性の損失を食い止め、反転・回復軌道に乗せること。COP15(2022年)において2030年までに実現することとして設定された国際目標</p>	<p style="text-align: center;">DX</p> <p style="text-align: center;">(デジタルTRANSフォーメーション)</p> <p>データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立させること。</p>
取組名称	生物多様性の回復に資する取り組み			
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高山市清見町及び石浦町地内における外来植物の駆除 ・ グリーン商品の購入 ・ FSCやPEFC認証製品の購入 ・ 植林と法面保護（播種選定） ・ 清掃活動（ごみ拾い等） 			
経費	不確定			
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生態系及び生物多様性の保全 ・ 合法伐採の利用促進 ・ 自然の回復 <p style="text-align: center;">※ SDGs 14/15に該当</p>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ FSCとPEFC認定品の価格が割高 			
備考欄				